

産経新聞ニュース

ビル運営の3セク再建のため14億円放棄 さいたま市

2009.11.27 20:18

さいたま市は、経営が悪化している市の第3セクター「岩槻都市振興」再建のため、同社への貸付金13億7000万円を実質的に放棄すると発表した。同社はいったん整理され、その上で市が新たに5億円の第三者割当増資を引き受けるなどして、再建を後押しする。関連議案を12月定例議会に上程する方針。市によると、岩槻都市振興は東武野田線岩槻駅前の商業ビル「ワッツ」を運営。市が7割弱を出資している。テナント賃料の大幅減額などで経営が悪化し、平成21年度末に破(は)綻(たん)する見通しとなっていた。ワッツには中核テナントとしてマイカルが運営するサティが入居しているが、22年3月に撤退予定。市は今後、公共施設の入居を検討するという。

毎日新聞ニュース

岩槻都市振興：ワッツ運営三セク、回収機構で経営再建へ - さいたま市 / 埼玉

さいたま市は26日、東武野田線岩槻駅前の再開発ビル「ワッツ」を管理運営する第三セクター「岩槻都市振興」について、整理回収機構を活用して経営再建する計画を発表した。債権放棄などで、市には約19億7000万円の損失が発生するが、破産させるよりも資産を回収できる手法という。回収機構が承認すれば、市は12月議会に関連議案を提出したい考え。岩槻都市振興は02年、キーテナント「マイカルサティ」の撤退を引き止めようと賃料を半減して経営が悪化。マイカルは今年9月、改めて来年3月の撤退を決め、市は後継テナントを探していた。

再建計画では、市が持つ債権の74%にあたる約13億7000万円を1000円で回収機構に譲渡し、実質放棄する。出資金約6億円は100%減資し、新たに5億円を出資。商業テナントが見込めないワッツ東館3、4階には、公共施設の導入を検討していく。マイカルも、岩槻都市振興に預けた約37億円の保証金のうち、27億6000万円の放棄などを受け入れる。この計画で、市は08年度末約58億円の負債を09年度末約16億円まで圧縮でき、20年後には解消できるとみている。【稲田佳代】